

平成18年安曇野市議会3月定例会一般質問

20議員 市政を問う

市政のここが
ききたい!

3月定例会では、3月13日から15日までの3日間一般質問が行われました。20議員が質問に立ち、活発な質問や提案がなされました。

一般質問		
3月13日(月)	3月14日(火)	3月15日(水)
平林 徳子 議員	松森 幸一 議員	吉田 〇男 議員
青柳 吉宏 議員	松尾 宏 議員	高山 一榮 議員
宮澤 孝治 議員	浅川 保門 議員	小林 紀之 議員
大月 晃雄 議員	山田 高久 議員	藤森 康友 議員
小林 純子 議員	等々力 等 議員	下里喜代一 議員
黒岩 宏成 議員	草深 温 議員	本郷 敏行 議員
松澤 好哲 議員	宮下 明博 議員	



不妊治療に助成制度を

平林 徳子 議員

Q 県のまとめによると、05年人口の自然増減はマイナスとなり、本格的な人口減の時代に入ったという。少子化対策が論議されているが、子どもを産みたくても産めない人もおり、社会的要因等で不妊症は増えているといわれる。不妊治療には保険診療と自費診療があり、どちらにしても費用と時間と心理的負担は大変大きいものがある。子どもを産みたいと願う人たちのために、少子化対策の一環として助成制度を考えないか。

A (市長) 大変重要な課題である。市としても経済的負担の軽減、少子化対策の一環として今後検討していかなければならない。該当者や状況の実態把握も必要だと思ふ。

A (健康福祉部長) 今後該当者の関係、助成制度の内容等精査して前向きに検討していきたい。

認知症の検診と予防

Q 中高年齢者の心配事は健康問題であり、特

に認知症だといわれる。市では種々の検診に力を入れ、病気の早期発見、治療に取り組んでいる。認知症においても検診して早い段階で発見し対応するべきだと考えるがどうか。「2段階方式による早期発見と回復法」の高階絹子氏との契約内容は。

A (健康福祉部長) 2段階方式については平成10年頃から、豊科、明科、堀金地域で実施している。保健師の研修を進め、予防教室のなかで認知症の把握をしケアを考えていく。18年度も拡大しながら進めたい。集団検診については、他の検診もあり時間的な関係等精査をしながら今後進めていきたい。

男女共同参画社会の推進

Q 市として18年度は男女共同参画社会の推進をどのように進めていくか。5地域の連携、継続事業について、担当者の研修は。

A (総務部長) 男女共同参画社会形成推進委員



各地の不妊治療助成制度

会を18年度の早い時期に立ち上げたい。2月23日に5地域に組織されている女性団体の連絡協議会役員の皆さんに集まっていた。そこを中心にしたから、市の連絡協議会を立ち上げたいと考えている。それぞれの継続事業は引き続き進めていきたい。担当は総務部人権尊重課人権尊重係と各総合支所の地域支援課である。研修については、市の市長会等主催の事務担当者連絡会議や県の女性センター等の研修に職員を積極的に参加させ資質の向上に努めていきたい。

議案の審査結果

【議員提出議案】		
議案番号	件名	結果
議員提出第1号	個人所得課税における各種控除の安易な縮小を行わないことを求める意見書の提出について	可決
議員提出第2号	「患者負担増計画中止」と「保険で安心してかかる医療」を求める意見書の提出について	可決
議員提出第3号	出資法の上限金利の引き下げ等、「出資の受け入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律」及び「貸金業の規制等に関する法律」の改正を求める意見書の提出について	可決
議員提出第4号	WTO農業交渉と新たな食料・農業・農村基本計画に関する意見書の提出について	可決
議員提出第5号	議員の研修視察について	可決

【陳情】		
議案番号	件名	結果
平成17年陳情第2号	患者・国民負担増の中止と「保険で安心してかかる医療」を求める陳情書	採択
平成17年陳情第3号	個人所得課税における各種控除の安易な縮小を行わないことを求める意見書(案)の採択についての陳情	採択
陳情第1号	JA松本ハイランド「農業生産者大会」の決議についての要請書	採択
陳情第2号	耐震診断業務の実施促進について	採択
陳情第3号	公共工事に関する建築物の設計者の選定及び建設省告示第1206号による設計報酬基準の採用について	採択
陳情第4号	安曇野市における市内業者の優先指名についての陳情書	採択
陳情第5号	堀金保育園の早期建て替えに関する要望書	採択
陳情第6号	児童室内容充実、児童館建設に関する陳情書	採択

【請願】		
議案番号	件名	結果
請願第1号	黒沢尻に多目的公園の建設を求める請願書 上川手保育園の増改築並びに遊び場の拡大	継続審査
請願第2号	整備に関する請願書	採択
請願第3号	豊科犀川東地区への診療所施設誘致に関する請願書	継続審査
請願第4号	介護保険利用料減免等を求める請願書	採択
請願第5号	「患者負担増計画中止」と「保険で安心してかかる医療」を求める請願書	継続審査
請願第6号	学校給食センターに関する請願書	採択
請願第7号	学校給食センターに関する請願書	採択
請願第8号	学校給食センターに関わる情報公開に関する請願書	採択
請願第9号	学校給食センター建設に関わる事前情報公開に関する請願書	採択
請願第10号	学校給食センター建設に関わる方針転換の理由説明を求める請願書	採択
請願第11号	学校給食センターに関する請願書	採択
請願第12号	出資法の上限金利の引き下げ等、「出資の受け入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律」及び「貸金業の規制等に関する法律」の改正を求める請願書	採択

平成18年第1回安曇野市議会臨時会（1月）		
議案番号	件名	結果
議案第1号	安曇野市児童館条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第2号	安曇野市豊科南部地区産地形成促進施設条例の制定について	可決
議案第3号	安曇野市三郷やすらぎ空間施設条例の制定について	可決

組合議会等議員構成（平成18年3月16日現在）

組合議会等名称	構成議員（議席番号順）
松本広域連合議会議員	栗原定美 松澤好哲 山田高久 西澤韶修 水谷嘉明
安曇野・松本行政事務組合議会議員	等々力等 宮澤孝治 浅川保門 松澤好哲
安曇野松筑広域環境施設組合議会議員	松森幸一 平林徳子 大月晃雄 吉田満男 濱 昭次 小林紀之 高山喬樹 本郷敏行 草深 温 水谷嘉明
松塩筑木曾老人福祉施設組合議会議員	下里喜代一
穂高広域施設組合議会議員	小林純子 等々力等 吉田満男 松尾 宏 藤森康友 高山一榮 黒岩宏成 青柳吉宏 水谷嘉明
川手学校給食共同調理施設組合議会議員	下里喜代一 大月晃雄 宮下明博 水谷嘉明
安曇野市民生委員推薦会委員	丸山祐之 松澤好哲
安曇野市社会福祉協議会(評議員)	平林徳子 水谷嘉明
安曇野市都市計画審議会委員	藤原廣徳 小林紀之 宮下明博

指定管理者制度って？

地方自治法の一部が平成15年に改正され、「指定管理者制度」の導入により公の施設の管理・運営は、民間の事業者・NPO法人・ボランティア団体・地域の団体等も管理・運営を行うことが可能になりました。安曇野市でも指定管理者となっていただけの団体等を募集し、9月から本格的に運営開始を予定しています。

指定管理者制度導入のねらいは？

いままでの公の施設の管理は、公的主体に限定していましたが、この制度導入を民間主体において、民間事業者の持っている技術や知識の情報（ノウハウ）を公的機関においても広く活用し、住民サービスの向上につながる一つのねらいでもあります。

募集方法等詳細につきましては、広報あづみの お知らせ版 No.11をご覧ください。

政務調査費って？

政務調査費とは、地方自治体の議員の調査や研究に必要な経費として、自治体が議会の会派や議員に支出する補助金のことをいいます。特に重要なことは、この調査費は「調査・研究」の目的以外に支出することが認められていないことです。

このことから、政務調査費の使途を明確にする必要があるため、安曇野市議会においては、「政務調査費運用マニュアル」を策定し、その使途基準を明らかにし、市民の皆様にご支持いただける調査研究活動に努めます。

また、この政務調査費に関する条例等については、この3月定例会において議決され、議員1人当たり年額90,000円が補助金として交付されます。